



一九三七年
(昭和十二年)

(花山天文臺)
月

I—太陽と月 (京都に於る値)

日附	日出	日没	(星座)	日附	月 齢 (正午)	月 出	月 没	(星 座)
	時 分	時 分		日	日	時 分	時 分	
1	4:46	19:15	(ふ た ご)	1	22.2	23:27	11:42	(う を)
6	4:48	19:14	"	2	23.2	—	12:48	" "
11	4:51	19:13	"	3	24.2	0:04	13:55	(ひ つ じ)
16	4:54	19:11	"	4	25.2	0:45	15:04	" "
21	4:58	19:8	"	5	26.3	1:34	16:12	(う し)
26	5:1	19:5	(か に)	6	27.2	2:29	17:18	" "
31	5:5	19:1	"	7	28.2	3:31	18:17	(オリオン)
				8	29.2	4:39	19:09	(ふ た ご)
				9	0.9	5:49	19:54	(か に)
				10	1.9	6:57	20:33	" "
				11	2.9	8:03	21:08	(し ゝ)
				12	3.9	9:07	21:39	(六分儀)
				13	4.9	10:07	22:10	(し ゝ)
				14	5.9	11:06	22:41	(を と め)
				15	6.9	12:03	23:13	" "
				16	7.9	13:00	23:46	" "
				17	8.9	13:56	—	(てんびん)
				18	9.9	14:51	0:23	" "
				19	10.9	15:44	1:4	(さ そ り)
				20	11.9	16:34	1:50	(蛇 遣 ひ)
				21	12.9	17:21	2:40	(い て)
				22	13.9	18:04	3:34	" "
				23	14.9	18:44	4:31	" "
				24	15.9	19:20	5:30	(や ぎ)
				25	16.9	19:53	6:30	(みづがめ)
				26	17.9	20:25	7:32	" "
				27	18.9	20:57	8:34	(う を)
				28	19.9	21:30	9:36	" "
				29	20.9	22:5	10:40	" "
				30	21.9	22:44	11:46	" "
				31	22.9	23:28	12:53	(ひ つ じ)

II—天象

日 時	天象
4, 2	水星が近日點
4, 9	天(南3°)と月と合
4, 21	木星による恒星の掩蔽
5, 8	金(南4.7°)と月と合
5, 12	地球が遠日點
8, 13	水(北4°)と月と合
8, 20	水星が外合
15, 17	木星が對衝
18, 6	火(南42°)と月と合
18, 19	土星が停留
23, 6	木(南4°)と月と合
31, 16	天(南3°)と月と合

下 弦	上 弦
1日, 22時: 3分	8日, 13時: 13分
31日, 3時: 47分	満 月
15日, 18時: 36分	23日, 21時: 46分
6日, 18時	遠地點通過
	18日, 19時

主な流星群

日 附	赤 緯	赤 緯
6月—8月	353°	+28°
6月—8月	303	+24
中 旬	317	+31
29日	339	-11
15日	15	+49
31日	32	+54

附近の星	性 質
ベガス座γ	速, 痕 短
小 狐 座座γ	速
白 鳥 座座δ	速
水 瓶 座座δ	長, 顯著
ベルセウス座座δ	速, 痕 短
ベルセウス座	速, 痕 短

遊 星 界 (7月)

水星 月の中旬までは観望不能。……8日に外合となるからこれ以後太陽の東側へ出で、下旬には獅子座で、夕の西空に一寸お目にかゝれる筈。光度は-0.1等。

金星 この月中、日出に先立つこと約3時間早く東天に昇つて、¹「曉の明星」²として、-3.7等前後の光芒を放つ。牡牛座をグングン東進中で、中頃に赤いアルデバラン星の北約2°の邊を通過して愛嬌を振りまくのは、見上げた處美しい眺めであらう。月末にはオリオンの北に進んで、各々その優勢を競ふのは早曉の空の一偉観であらう。

火星 漸く遠去かつて行く火星は、天秤座を蝸座のアンタレス星の北側へ向つて順行中で、月初めは宵の頃に、月末は日暮れに南中するから、殆んど半夜を火星に見ゆることが出来る。赤い¹火星の敵²アンタレス星と相並んで、南天に輝く赤と赤との合奏は、今年の夏空の呼物!! 光度は月初-1.2等、月末-0.6等、今が観望の絶好期。

木星 深夜に仰ぐ遊星として、射手座が東に昇つた頃、漸く東天に現はれる。毎夜火星に次いで遊星界の花形を務め、光度は-2.3等で、遙か天頂に七夕の星々とその光輝を争ひ、逆行しつつ、星座の中間に進んでゐる。

土星 木星が南中する頃東天に現はれるお待ち兼ねの星、愛嬌の星。寧ろ早曉の星として、日出前の東天を賑はす。鯨座の西隅に1.3等のドンヨリした光を放つてゐる。

天王星 やはり早曉の星として羊座を悠然漫步中。6.2等級。

海王星 7.8等級の星で見難いが、獅子座の東端を歩んでゐる。

冥王星 蟹座に殆んど停滯の態、太陽系の外縁を護る番人。

星座 美しい銀河が南東北の天にかゝり、夏の象徴星座¹「ヘルクレス」²、「蛇遣ひ」³、「蝸」⁴、「射手」⁵、「琴」⁶の代表座が、綺羅と輝き、牽牛、織女の七夕の兩星は全天の星座中のヒロイと、ヒロインを代表して今宵も麗し!!。